

新しい政治の中身を模索する時代。 古い自民党型市政から抜け出せ

2010年度予算要望を申し入れ



吉田宏市長(左端)に要望書を申し入れる(左から)宮本秀国団長、中山いくみ幹事長、星野美恵子議員、ひえじま俊和議員、倉元達朗議員、熊谷敦子議員 =12月28日、市長室にて

日本共産党福岡市議団は12月28日、6名の議員がそろって吉田宏市長と面会し、来年度予算編成に関する要望書を手渡し、申し入れました。

宮本秀国団長は「先の総選挙で自公政権退場の審判が下され、民主党中心の政権が誕生したが、過渡的な性格を示している」と述べ、市民が新しい政治を模索する中、古い自民党型市政から抜け出す必要があると指摘しました。

そのうえで、人工島などムダな大型開発をやめて、市民生活の応援を基本にした予算編成を行うよう要望しました。その内容は、福祉・子育て、雇用と地域経済、教育の充実、まちづくり、環境など245項目。文書による回答を求めました。

申し入れには高田洋征、鶴川洋両副市長、山田裕嗣教育長らが同席しました。

予算要望の主な項目

所得税・住民税の扶養控除廃止反対▽市長退職金(3744万円)の廃止▽公的な雇用創出▽公共料金の福祉減免▽国保料引き下げ、保険証の原則交付▽新こども病院構想の白紙撤回、市立病院独法化の中止▽特別養護老人ホーム増設▽老人医療費助成制度の復活▽インフルエンザ対策▽ヒブワクチン費用助成▽ケースワーカー増員、生活保護充実、年末年始の失業者支援▽重度心身障害者福祉手当の存続拡充▽人工島新事業計画の撤回▽九大六本松跡地に文化施設▽河川水害対策▽五ヶ山ダム建設凍結▽市営住宅の増設▽地球温暖化対策▽住宅リフォーム助成制度▽地元木材の利用促進▽いっせい学力テスト中止▽30人学級の実現▽教室冷暖房の設置▽保育所新設による待機児解消、認可外保育所支援▽児童館の設置▽育休切りの禁止▽市幹部の天下り禁止▽桑原元市長銅像建立の中止▽消費生活センターの体制強化▽米軍板付基地返還、米軍艦の博多港入港反対、非核平和条例制定